

平成 26 年度
事業概要

平成26年4月

国土交通省 中部地方整備局

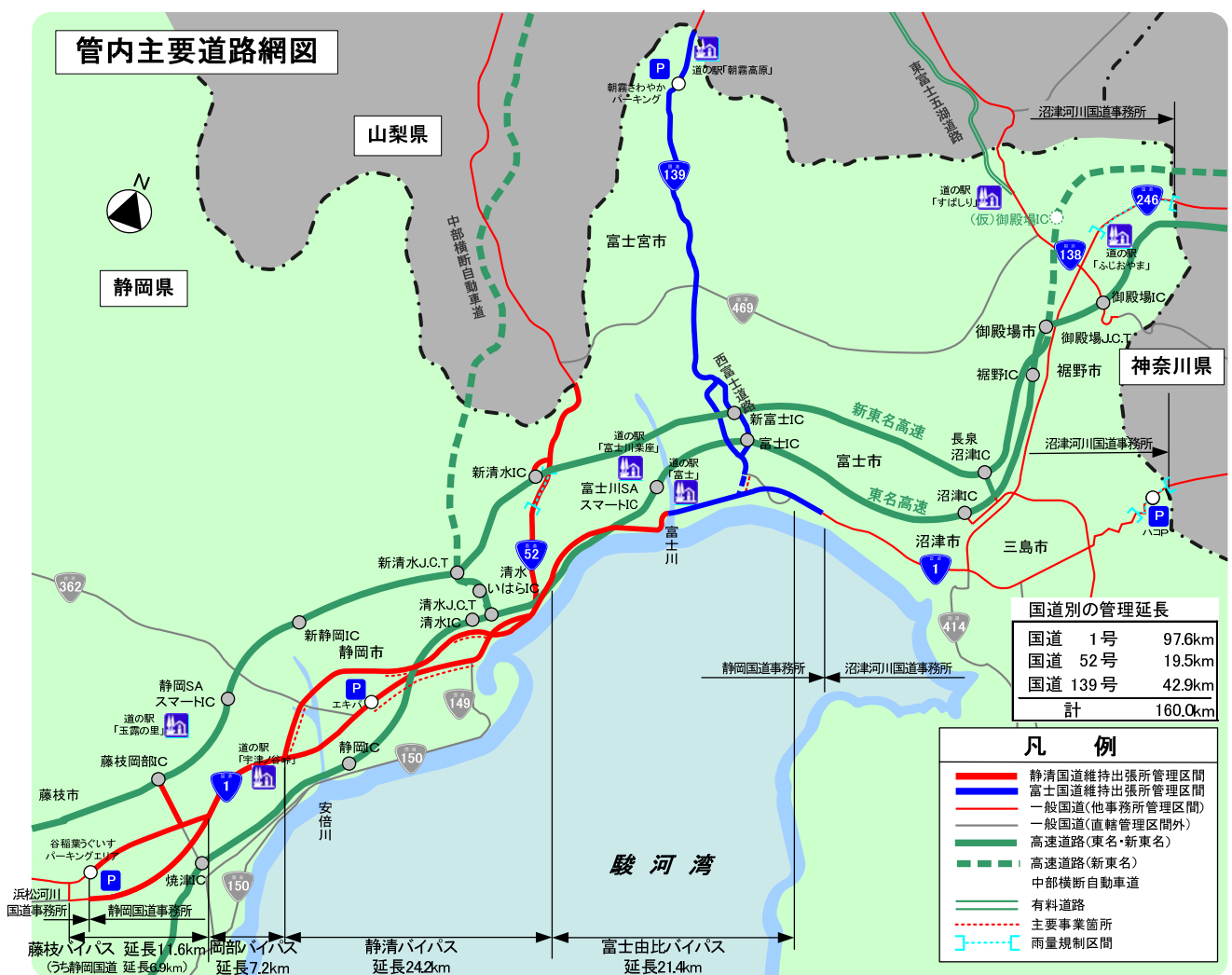
静岡国道事務所

目 次

1. 静岡国道事務所の概要	1
2. 平成 26 年度 事業費および事業のポイント	2
(1) 多様な交流と活力ある「静岡」づくり	
1) 国道 1 号 静清バイパス	4
2) 国道 1 号 静清バイパス (清水立体)	6
3) 国道 1 号 富士由比バイパス	8
4) 国道 139 号 富士改良	10
(2) 安全安心な「静岡」の暮らしを実現	
1) 維持管理関係	12
2) 交通安全関係	16
(3) 美しく快適なまち「静岡」の創出	
1) 国道 1 号 無電柱化	18
2) ボランティアサポートプログラム 道路の美化・清掃に顕著に貢献頂いた団体を表彰 静岡県内【中学生の部】初！ ～平成 25 年度「道路ふれあい月間」推進標語で優秀賞受賞～	19
3. トピックス	
○新東名高速道路 御殿場 JCT～三ヶ日 JCT 間 開通後 1 年間の交通状況	7
○「寺尾交差点立体化」完成のお知らせ	9
○「地域の主要渋滞箇所」の公表について ～官民一体で静岡県内の主要渋滞箇所を選定～	11
○平成 26 年 2 月 14 日～15 日の大雪に伴う雪害対応について	14
○清水港みなと色彩計画推進協議会より感謝状を頂きました	15
○国道 1 号清水駅前交差点改良 ～人にやさしく安全な交差点～	17
○日本風景街道 ～静岡国道事務所管内の風景街道の紹介～	20
～日本風景街道大学・ふじのくに静岡校～	21

1. 静岡国道事務所の概要

- (1) 国道 1 号の改築および道路管理
- (2) 国道 52 号の道路管理
- (3) 国道 139 号の改築および道路管理
- (4) 道路区間における道路法事務手続き
(例 特殊車両通行申請)



2. 平成 26 年度 事業費および事業のポイント

(1)平成 26 年度 事業費

【百万円】				
	事業名	H26	H25	
		当初	当初	補正
道路改築関係	国道1号 静清バイパス	4,144	4,353	1,070
	国道1号 富士由比バイパス	55	805	
	国道139号 富士改良	802	904	200
	小計	5,001	6,062	1,270
電線共同溝関係		545	430	
交通安全関係		896	1,374	66

(2)平成 26 年度 事業のポイント

1)多様な交流と活力ある「静岡」づくり

■国道1号 静清バイパス 4車線化工事の推進

- ①鳥坂IC～千代田上土IC(延長 2.8km)
 - ・平成 26 年度 完成 4 車線開通に向け工事推進
- ②羽鳥IC～牧ヶ谷IC(延長 0.5km)
 - ・平成 26 年度 完成 4 車線開通に向け工事推進
- ③牧ヶ谷IC～丸子IC(延長 3.0km)
 - ・平成 30 年度 完成 4 車線開通に向け工事推進
- ④清水立体(延長 2.4km)
 - ・工事着手に向け用地買収推進

■渋滞解消事業の推進

○国道1号富士由比バイパス

- ・富士市前田～富士市五貫島の立体化に向け用地買収推進

○国道139号富士改良

- ・(都)津田蓼原線～(県)富士由比線間(延長 0.7km)については、平成 27 年度部分開通に向け工事推進
- ・(都)前田宮下線～(都)津田蓼原線間(延長 0.8km)については、用地買収推進

2)安全安心な「静岡」の暮らしを実現

■橋梁補修、耐震補強及び防災対策の推進

- ・老朽化が進行する橋梁の補修、東海地震等に備えた橋梁の耐震補強を推進
- ・雨量規制区間内の防災対策実施
- ・東海・東南海・南海地震対策として、「道の駅」の防災機能の強化に向けた施設整備を推進

■交通安全対策の推進

- ・『静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～』等により、重点的に交通事故・安全対策を推進

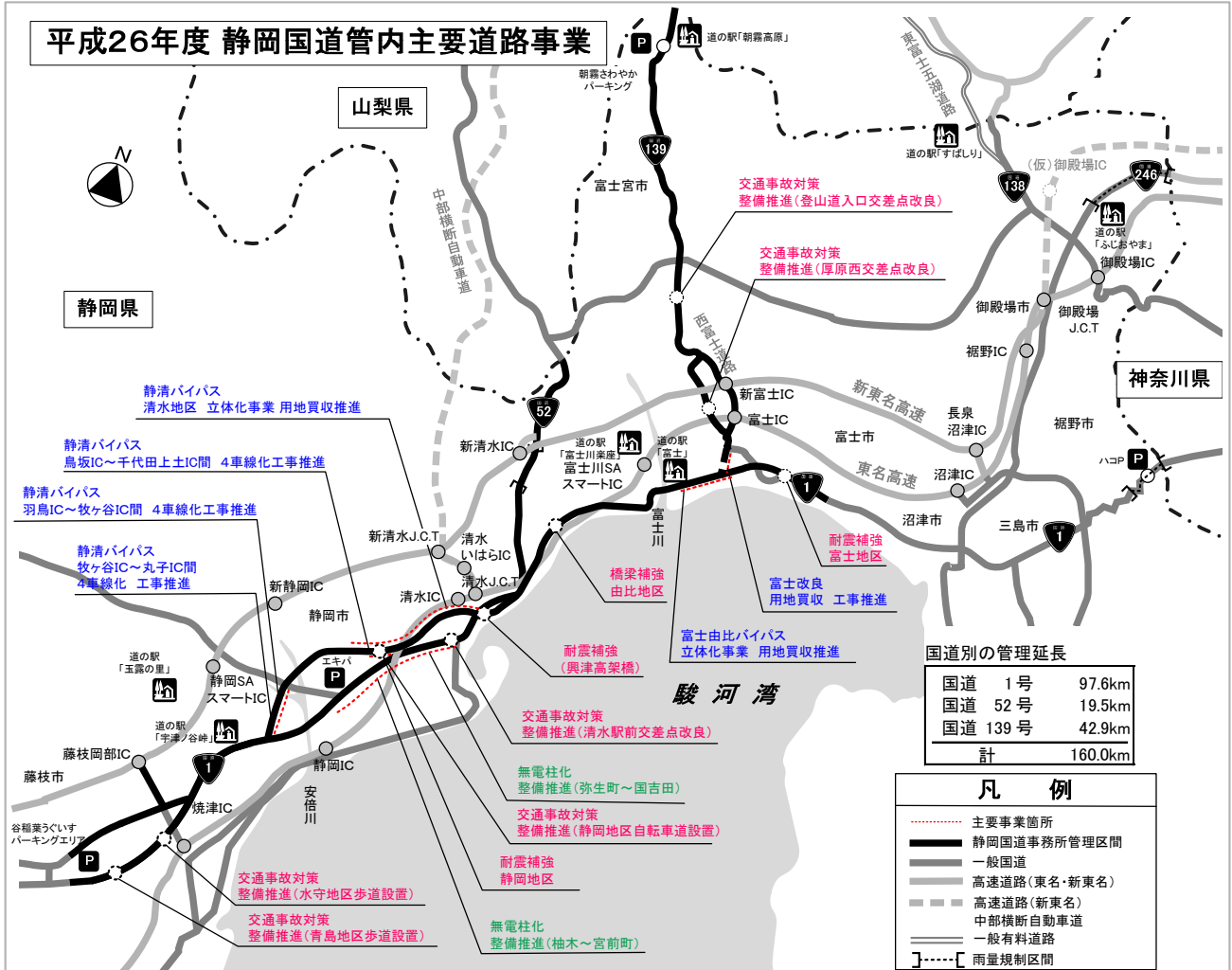
3)美しく快適なまち「静岡」の創出

■国道1号 無電柱化の推進

・歩道上の電柱や電線類をなくし、快適で安全な歩道空間とするために、無電柱化を推進

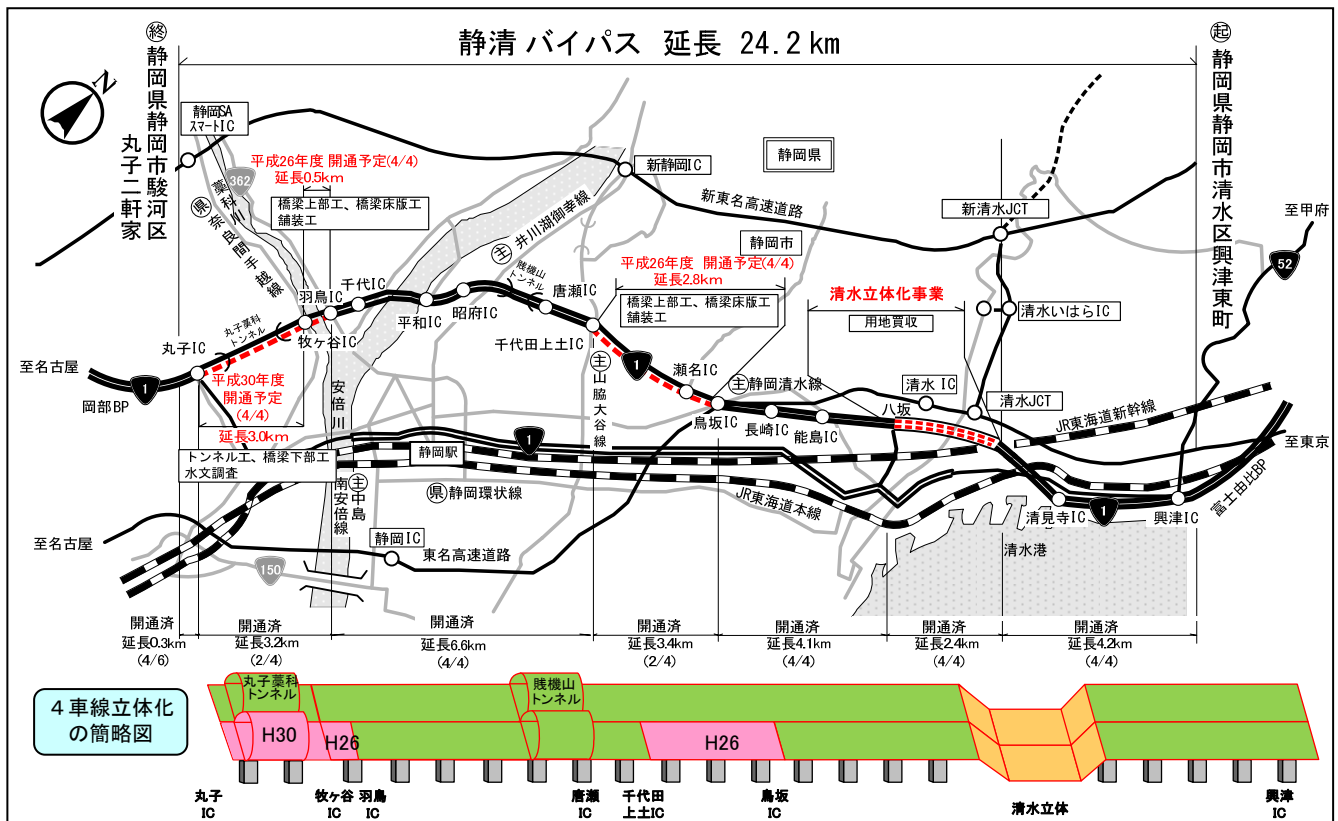
■地域と協働した道路美化対策(ボランティアサポートプログラム)

・地域の方々と協働して、歩道の清掃、花壇の整備を行って頂き、快適な歩道空間を確保



国道1号 静清バイパス

国道1号静清バイパスは、地域高規格道路「静岡東西道路」の一部を構成し、静岡市の環状道路の一部として、交通混雑の緩和、交通安全の確保、静清都市圏の発展の支援等を目的に計画された静岡市清水区興津東町から静岡市駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmの幹線道路です。



事業進捗状況

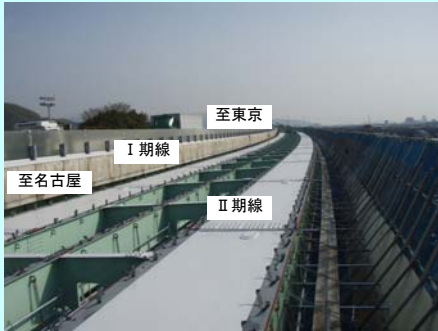
- ・静清バイパスは、平成9年3月に全線暫定2車線にて開通しました。
- ・平成26年度には、鳥坂IC～千代田上土IC間及び羽鳥IC～牧ヶ谷IC間が4車線開通する予定です。また、平成30年度には牧ヶ谷IC～丸子IC間が4車線開通する予定です。
- ・引き続き平面区間の立体化および暫定開通区間の4車線化を推進し、交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ります。

【平成26年度の主な事業内容】

- | | |
|---------------|------------------|
| ◆清水立体 | 用地買収 |
| ◆鳥坂IC～千代田上土IC | 橋梁上部工、橋梁床版工、舗装工 |
| ◆羽鳥IC～牧ヶ谷IC | 橋梁上部工、橋梁床版工、舗装工 |
| ◆牧ヶ谷IC～丸子IC | トンネル工、橋梁下部工、水文調査 |

静岡バイパス 工事状況写真

① 鳥坂高架橋



平成 26 年 3 月撮影

II 期線の床版工の準備をしています。

③羽鳥 IC (上り線オフランプ)



平成 26 年 2 月撮影

ランプの舗装工事が完了しました。

④牧ヶ谷 IC (上り線オンランプ)



平成 26 年 2 月撮影

オンランプ橋の床版工を施工しています。

②瀬名高架橋



平成 26 年 3 月撮影

II 期線の床版工の準備をしています。

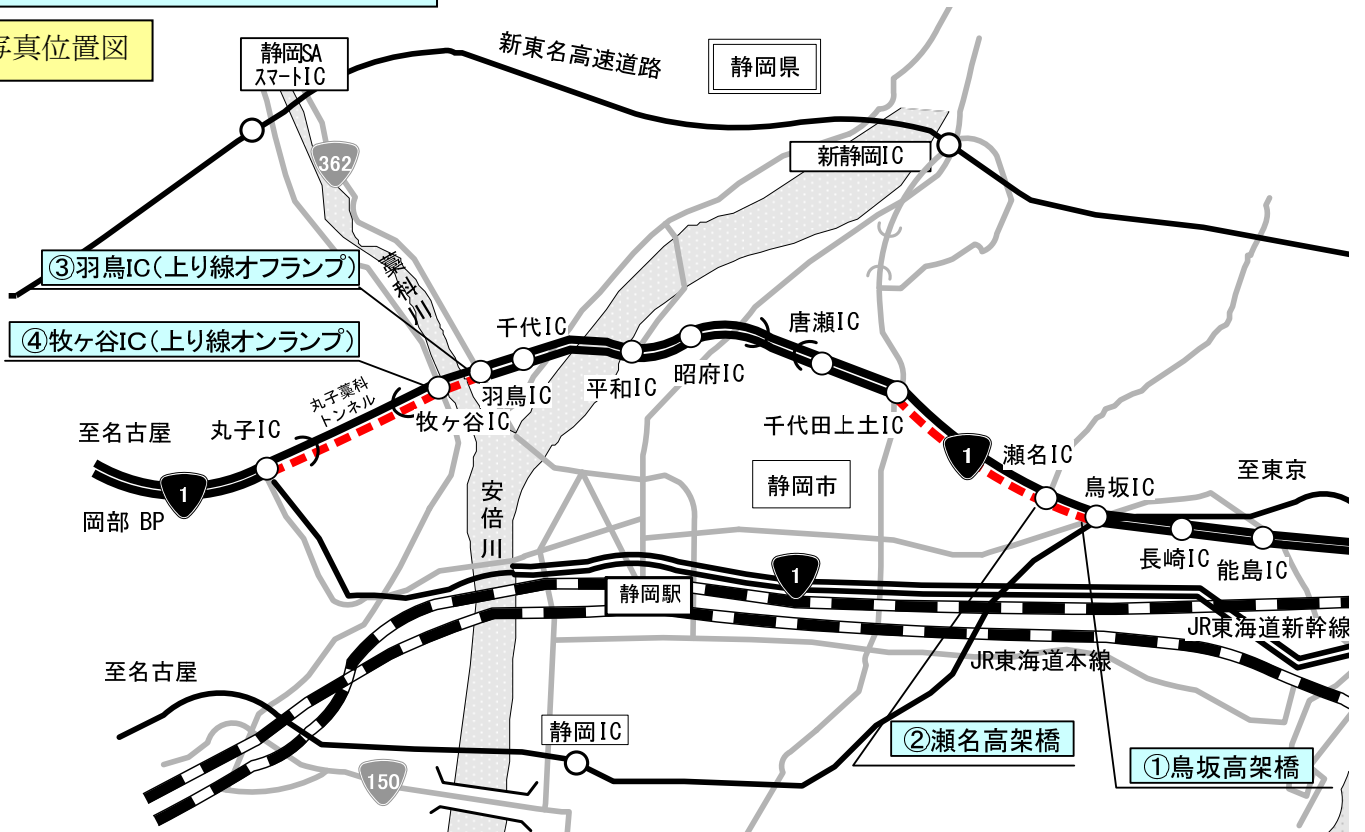


平成 26 年 3 月撮影



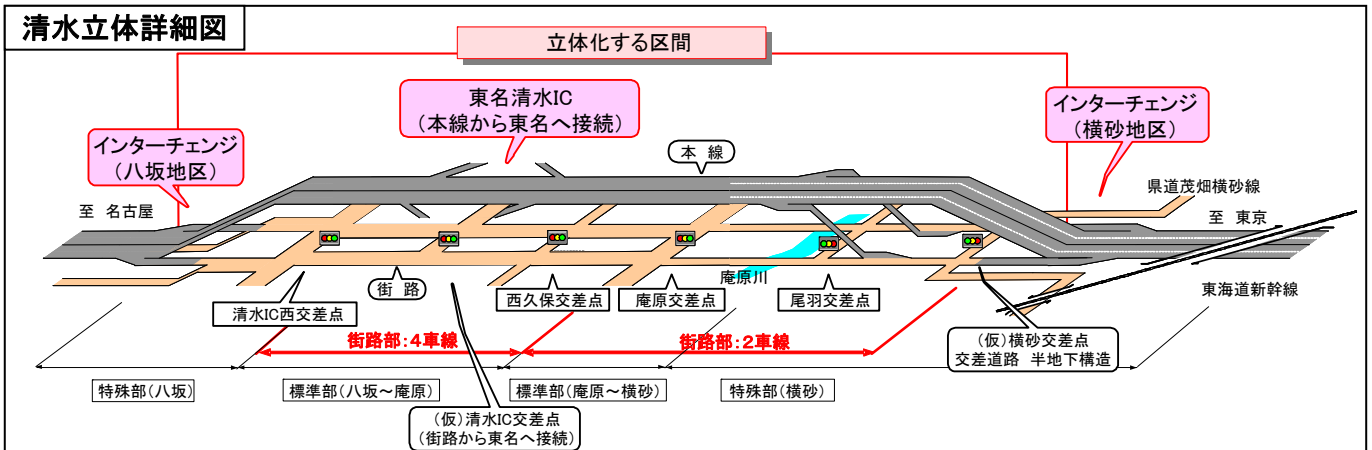
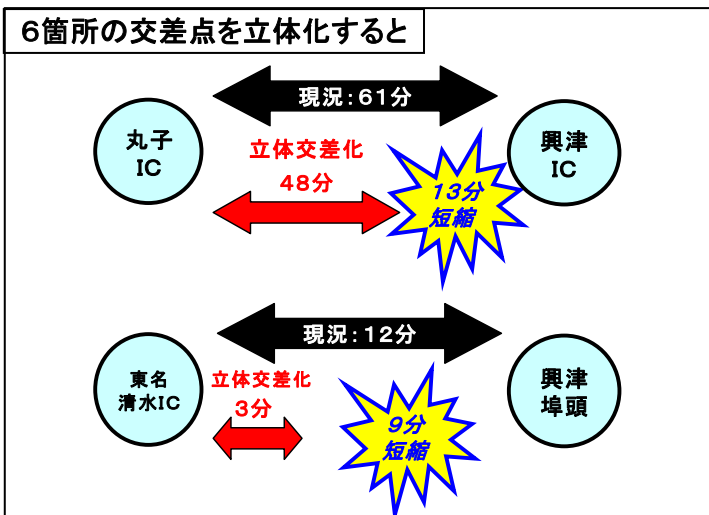
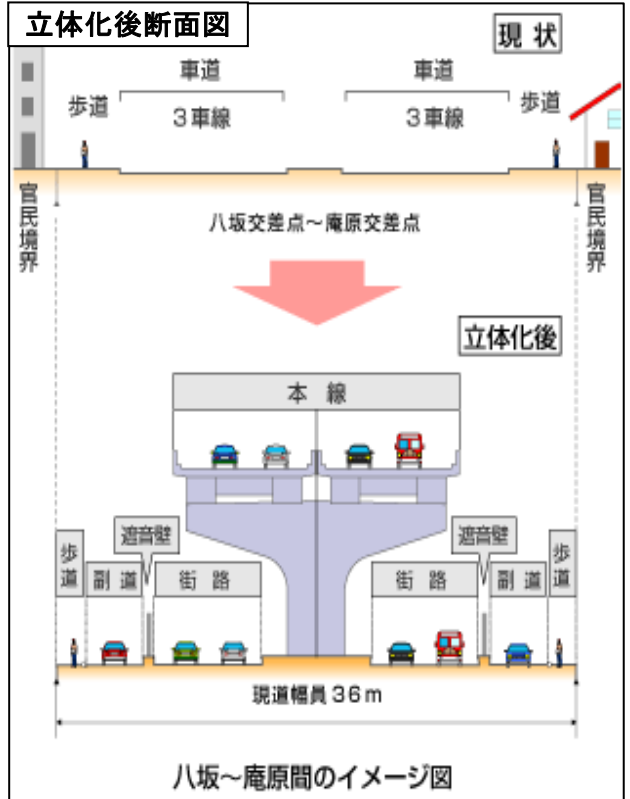
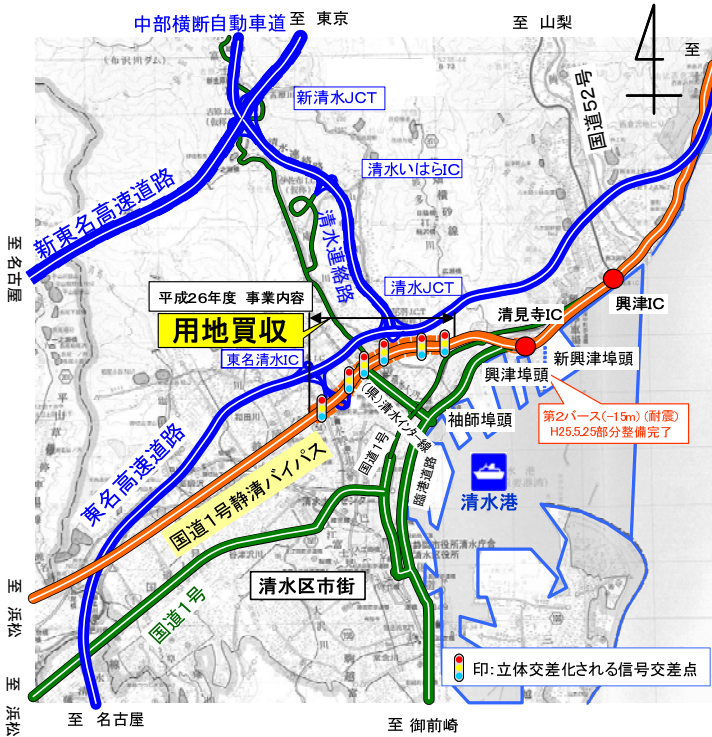
平成 26 年 3 月撮影

写真位置図



国道1号静岡バイパス 清水立体

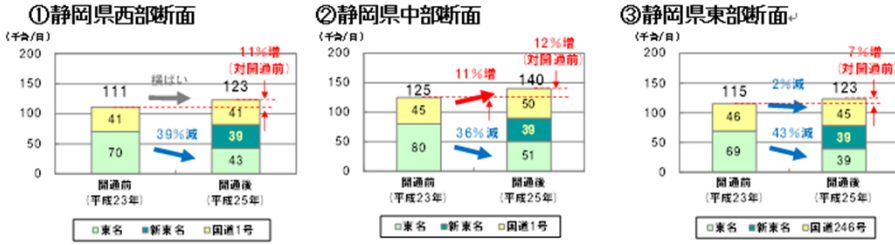
国道1号静岡バイパスのうち、既に平面部として供用している静岡市清水区横砂から同区八坂にかけて、渋滞緩和、交通事故削減、沿道環境改善を目的として立体化を行います。



新東名高速道路 御殿場JCT～三ヶ日JCT間 開通後2年間の交通状況

新東名高速道路の静岡県内区間のうち、御殿場JCTから三ヶ日JCTまでの延長約162kmが、平成24年4月14日(土) 15時に開通しました。「新東名(静岡県)インパクト調整会議」において、開通後2年間の「交通状況」と「県内の地域生活や地域経済への波及効果」をとりまとめましたので、お知らせします。

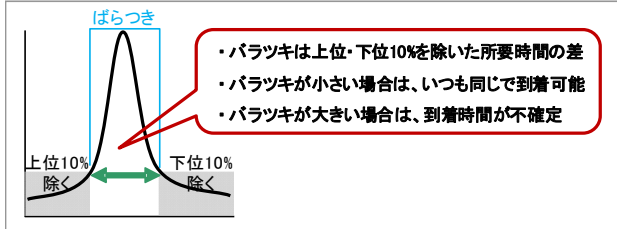
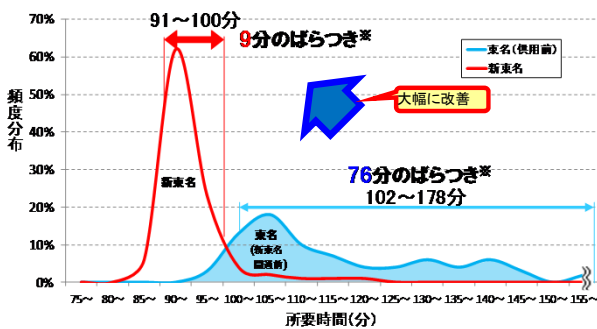
● 静岡県内の主要断面における断面交通量(新東名・東名・国道)の変化



出典：中日本高速道路㈱、国土交通省 交通量計測データ
 H23(開通前)：平成23年4月17日(日)～平成24年4月18日(金)..
 H25(2年目)：平成25年4月14日(日)～平成26年4月4日(金)..
 注：開通後2年間の交通量は、開通前と開通後2年間の平均値を比較した。



● 混雑期における安定した所要時間の提供(御殿場JCT～三ヶ日JCT)



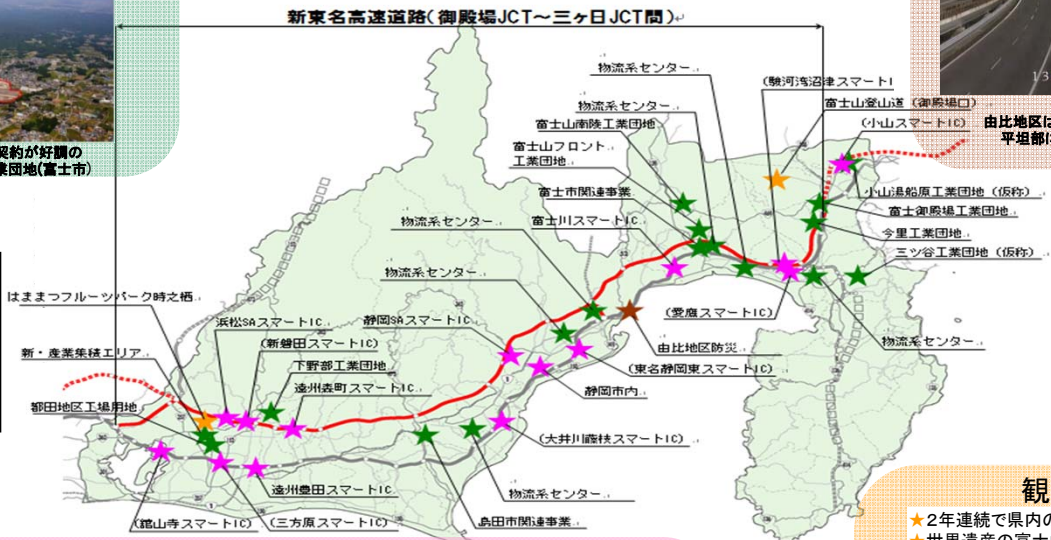
※特異値(所要時間の上位10%、下位10%)を除いた所要時間のばらつき
 出典：民間フローデータを用いた集計結果
 混雑期：平成23年GW[4月28日(木)～5月8日(日)]、お盆[8月10日(水)～16日(日)]
 平成25年GW[4月26日(金)～5月6日(月)]、お盆[8月8日(木)～18日(日)]

生産・物流拠点の立地

- ★工場立地数は開通前の約2倍に増加
- ★開通2年目も同規模を維持(全国6位)
- ★物流センターが多数立地



地域生活や地域経済への波及効果が拡大



ダブルネットワーク機能

- ★東名通行止時にリダンダンシー効果発現
- ★越波時の迂回路機能



由比地区は、急峻な山地斜面と海岸との間の狭い平坦部に東名高速など幹線が集中(静岡市)

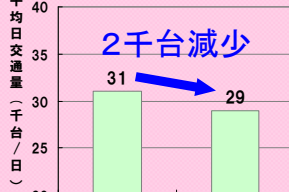
生活道路の利便性向上

- ★静岡IC周辺の市街地の走行速度が向上



新静岡ICの開通により静岡市街地にある静岡IC周辺道路の交通環境が改善(静岡市)

東名(静岡IC出入交通量)



出典：中日本高速道路㈱ 交通量計測データ
 開通前 平成23年11月平日の平均日交通量
 開通後 平成25年11月平日の平均日交通量

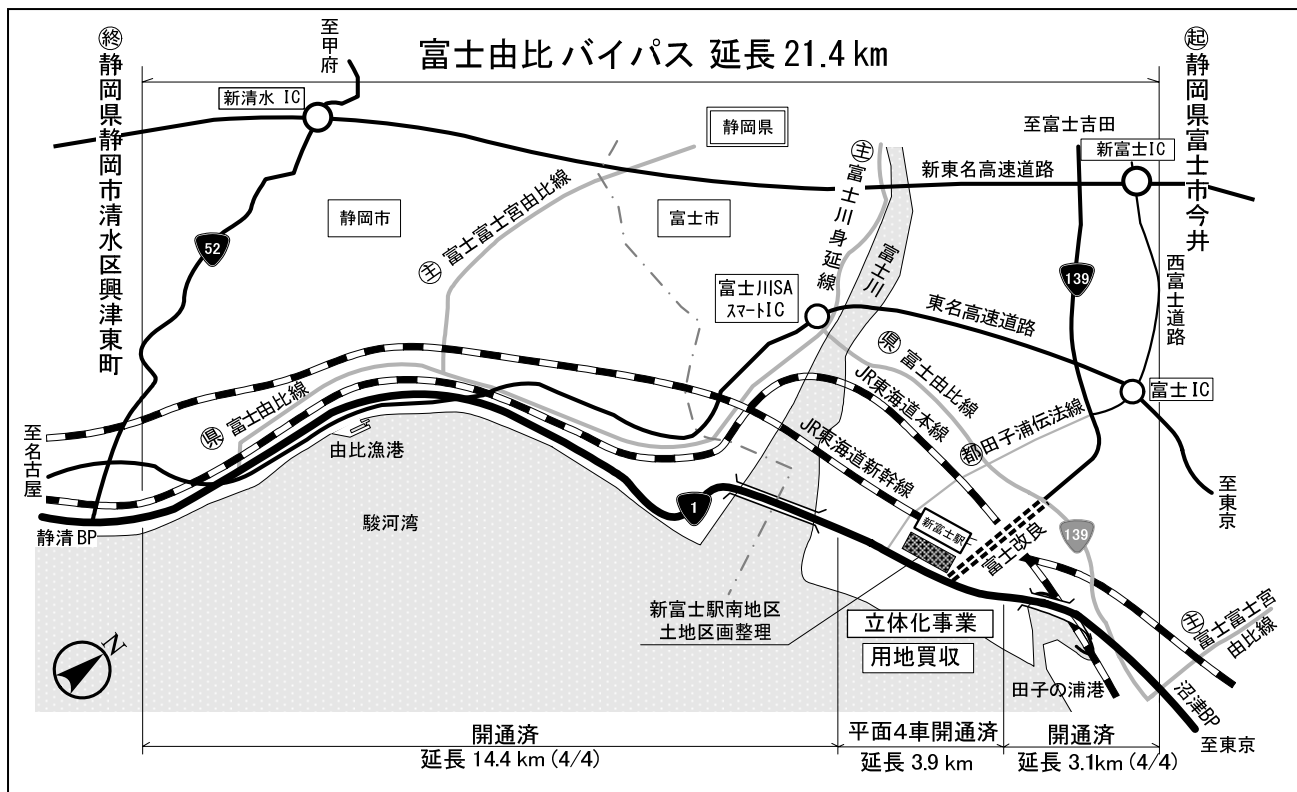
観光振興

- ★2年連続で県内の宿泊者数が増加
- ★世界遺産の富士山の山麓で観光客が増加
- ★新東名沿線で観光入込が増加傾向



国道1号 富士由比バイパス

国道1号富士由比バイパスは、静岡市、富士市の市街地の交通混雑の解消、沿線の生活環境の改善を目的に計画された富士市今井から静岡市清水区興津東町に至る延長21.4kmの幹線道路です。



事業進捗状況

- ・富士由比バイパスは平成14年度までに全線4車線にて開通しました。
- ・平成26年3月18日には寺尾交差点立体化事業が完了しました。
- ・引き続き、平面区間の立体化を推進し、交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ります。

平成26年度の主な事業内容： 用地買収（富士市前田～五貫島）

寺尾交差点立体化後写真



至名古屋



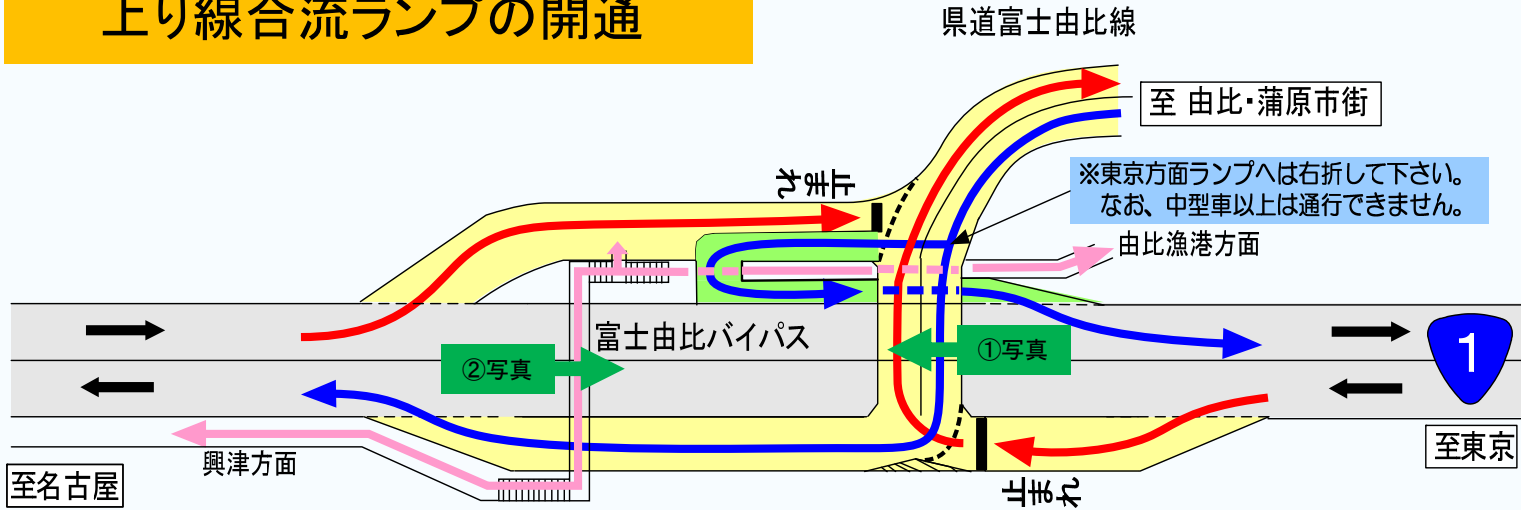
至東京

「寺尾交差点立体化」完成のお知らせ

静岡国道事務所では、交通渋滞の解消ならびに交通事故の削減を目的とした「国道1号富士由比バイパス寺尾交差点立体化」の完成に向け、鋭意工事を推進しています。

このたび、平成26年3月18日(火)1号上り線合流ランプが開通し、これをもって寺尾交差点立体化が完成しましたのでお知らせ致します。

平成26年3月18日(火) 上り線合流ランプの開通



凡例

- 通行経路** 国道から由比市街方向
- 通行経路** 由比市街から国道方向
- 通行経路** (歩行者・自転車)

- 新たに開通した区間**
- 県道およびアクセス路**

①写真



東京方面から名古屋方面を望む

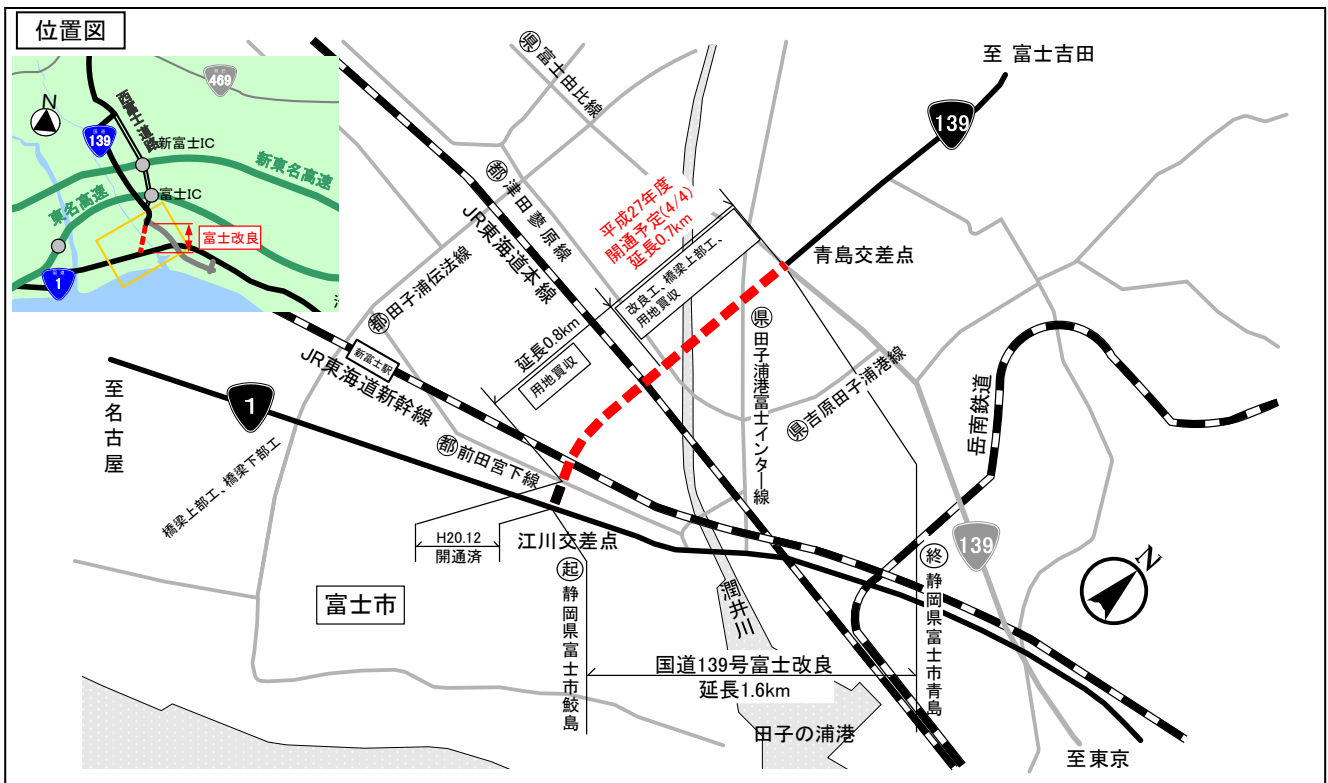
②写真



名古屋方面から東京方面を望む

国道 139 号 富士改良

国道 139 号富士改良は、富士市内の南北軸を形成する国道 139 号を国道 1 号富士由比バイパスと接続させることで、富士市街部の交通混雑の緩和を図ることを目的に計画された富士市鮫島から富士市青島に至る延長 1.6km の道路です。



事業の効果

国道 139 号を国道1号と結ぶことで、富士市街部の交通混雑緩和を図ります。

(都)津田蓼原線～(県)富士由比線間(延長 0.7km)については、平成 27 年度に部分開通する予定です。

【平成 26 年度の主な事業内容】

- ◆用地買収, 改良工事, 橋梁上部工事



工事状況写真

平成 25 年 8 月撮影



完成イメージ (潤井川～県道田子浦港富士インター線)



「地域の主要渋滞箇所」の公表について ～官民一体で静岡県内の主要渋滞箇所を選定～

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会において、平成24年6月～12月にかけて検討してきた県内の渋滞箇所について、パブリックコメント（意見収集）の結果及び最新データ等による検証の上、道路利用者のみならずが実感している「地域の主要渋滞箇所」を選定しました。

※「静岡県道路交通渋滞対策推進協議会」の構成員

国土交通省中部地方整備局、中部運輸局、静岡県警本部、静岡県、静岡市、浜松市、静岡県道路公社
中日本高速道路株式会社静岡県トラック協会、静岡県バス協会、静岡県タクシー協会

〈県内の主要渋滞箇所※〉

一般道路（静岡県内）	290箇所	5エリア※ ¹ (144箇所)	29区間※ ² (68箇所)	78箇所※ ³
高速道路（中部4県）※ ⁴	本線19箇所（うち県内1箇所）			
	IC出入口23箇所（うち県内2箇所）			

※) 渋滞発生状況等を踏まえ、主要渋滞箇所を「エリア」「区間」「箇所」に分類

※1) エリア…都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域

※2) 区間…交差点等が連坦するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

※3) 箇所…単独で主要渋滞箇所を形成

※4) 高速道路については、各県の道路交通渋滞対策推進協議会及び中京圏渋滞ボトルネック対策協議会にて選定

パブリックコメントの案内チラシ

「地域の渋滞箇所（案）」についてのパブリックコメント（意見収集）を行っています。
※受付期間：平成24年6月10日（水）～6月24日（水）

「あなたの街の渋滞箇所教えて!!」

あなたの街の渋滞箇所教えて 検索

<http://www.cbr.mlitt.go.jp/road/public/>

お問い合わせ先：静岡県警本部 交通安全課 交通安全課長 電話：053-441-1100（内線）

静岡県道路交通渋滞対策協議会の推進について

上記公表を受け、静岡県道路渋滞対策協議会は「主要渋滞箇所」の対応方針を検討しています。
静岡県道路渋滞対策協議会の開催状況は下記URLをご参照ください。

<http://www.cbr.mlitt.go.jp/shizukoku/torikumi/suisui/jutaijyo/index.html>

協議会の開催（H25.6.28）
○今後の進め方の共有

地域別検討部会（各エリア）
○課題・方向性の確認・共有
○対策方針の立案
○対策案のとりまとめ

協議会の開催（今後）
○各検討部会の検討状況及び結果を報告
○対策の決定

継続してフォロー



地域別検討部会の開催状況（平成25年度）

- 静岡エリア：4回
 - 富士エリア：2回
 - 富士山WG：1回
 - 藤枝・焼津・島田エリア：2回
- ※上記は中部地域での開催状況です。

〈今後の予定〉

1. 対策検討に向けて、引き続き、地域別検討部会・協議会を開催していきます。
2. 今後、主要渋滞箇所については、最新交通データ及び地域の交通状況を踏まえ、随時見直しを図っていきます。

維持管理関係

静岡国道事務所では、静岡県東部・中部地域の国道1号・52号・139号の3路線約160kmを2つの国道維持出張所で管理しています。

維持管理事業では、安全・安心な「静岡」の暮らしを実現するため、日常の道路パトロール等による適切な道路維持管理をはじめ、老朽化が進行する橋梁の補修、東海地震等に備えた震災・防災対策などを推進し、今後も「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。

◆静岡国道事務所管理道路網図



◆道路管理

道路パトロールによる日常的な道路管理のほか、防災点検、橋梁点検など、道路構造物の定期的な点検、雪氷作業などを実施することで、「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。



【道路パトロールで発見された道路損傷の復旧】



【定期点検により橋梁をきめ細やかに管理】



【雪氷作業によりスリップ事故防止を図る】



【雨量規制区間の通行規制により二次災害を防ぐ】



【防災点検により危険箇所の有無を確認】



【緊急時も速やかに対応し「安心」「安全」を確保】

維持管理関係

■ 橋梁の耐震補強・補修

橋梁補修は、橋梁の高齢化や自然環境(雨、風など)、外的要因(大型車交通量など)等による損傷を補修し、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害防止及び橋梁の延命化を図るために実施します。また東海地震等、大規模な地震が発生した時、道路の通行が確保されていることが被災地域の救援に不可欠です。通行、移動手段が遮断されると負傷者の搬出や救護物資の移送がままならず被害の拡大につながります。このため、大規模地震に見舞われた際、甚大な被害が生じないよう、橋梁の耐震補強を実施することで、「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。

■ 防災対策

落石や土砂崩れなどを防止するため、防災対策を進めています。



〈参考〉

最近の大雨等による通行止め実績 (平成26年3月31日現在)

平成 24 年	5 月 3 日	国道 1 号 興津 IC、国道 138 号 須走、国道 246 号 小山
	6 月 19 日～20 日	国道 1 号 箱根、国道 138 号 須走、国道 246 号 小山
	7 月 14 日	国道 138 号 須走、国道 246 号 小山
	9 月 30 日～	国道 138 号 須走
	10 月 1 日	国道 1 号 興津 IC、国道 138 号 須走
平成 25 年	1 月 14 日	国道 1 号 箱根、国道 138 号 須走、国道 139 号 根原
	9 月 15 日～16 日	国道 138 号 須走、国道 246 号 小山
	10 月 16 日	国道 1 号 興津 IC
平成 26 年	2 月 14 日～18 日	国道 1 号 箱根、国道 52 号 穴原、国道 138 号 須走 国道 139 号 根原



※小山においては、現場状況により連続雨量が 250mm に満たない場合においても通行止めを行う場合があります。

西伊豆町への緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)による支援活動について

～平成25年7月17日～18日の大雨に伴う災害～

平成25年7月17日～18日の大雨に伴い、静岡県賀茂郡西伊豆町において、土砂崩れ、洪水氾濫などによる災害が発生したことから、西伊豆町の要請を受け、中部地方整備局では7月18日からリエゾン(現地情報連絡員)を派遣するとともに、被災状況調査および路面清掃等を25日まで行いました。

静岡国道事務所は、応急対策として路面清掃作業を行いましたので、作業状況を報告します。

〈支援活動の概要〉

日 時:平成25年7月18日(木)～25日(木)

派遣人員:延べ53名

活動内容:

- ①リエゾンの派遣
※リエゾン:「組織間の連絡、連携」の意
- ②防災ヘリ(まんなか号)による上空からの緊急調査
- ③被害概況調査
- ④被害状況調査・**応急対策**

【路面清掃作業(応急対策)】

日 時:平成25年7月24日(水)～25日(木)

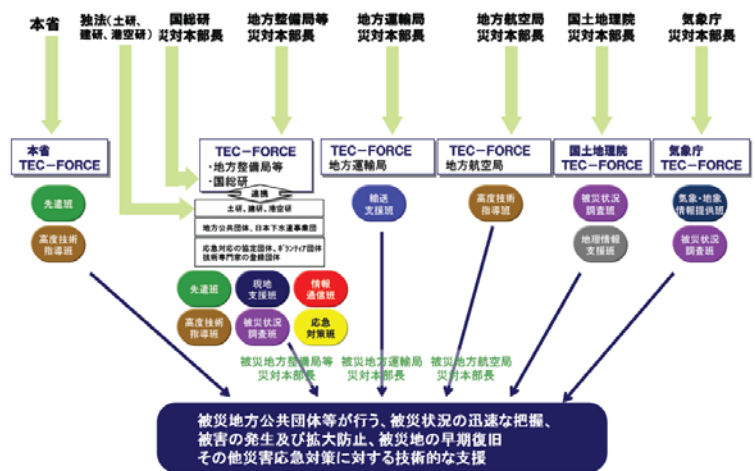
派遣人数:延べ10名(静岡国道事務所:8名)

派遣箇所:静岡県賀茂郡西伊豆町内

派遣内容:道路の路面清掃

〈TEC-FORCEとは〉

大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、国土交通省の職員が被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するものです。



〈路面清掃作業の活動報告〉

大雨により道路面に流出した土砂等が乾燥し、空気中に粉じんが飛散するなど、住民の健康や交通安全に支障をきたしていたため、7月24日～25日にかけて、路面清掃車、散水車、ダンプトラック(各1台)による、5路線、5.3km、26,500m³の路面清掃を行いました。

【路面清掃箇所】

- 7月24日:田子地区を実施 L= 3.7 km(3路線)
- 7月25日:安良里地区を実施 L= 1.6 km(2路線)



トピックス

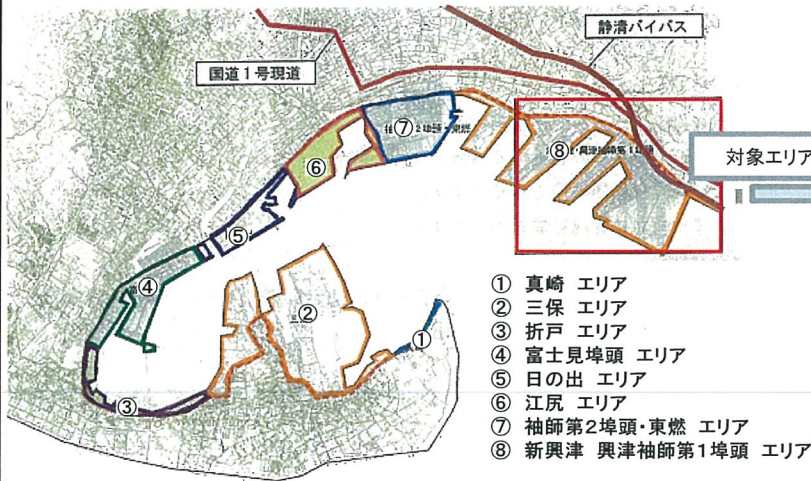
清水港みなと色彩計画推進協議会より感謝状を頂きました

国道1号静岡バイパス興津高架橋区間は「清水港みなと色彩計画」の対象区域に制定されており、静岡国道事務所では平成23年度より行っている興津高架橋補修工事で床版下面の塗装を行うにあたり協議会より色彩の助言を頂き色彩を決定した。今回は過去の実績から平成26年1月30日協議会より感謝状を頂きました。

〈みなと色彩計画〉の計画概要

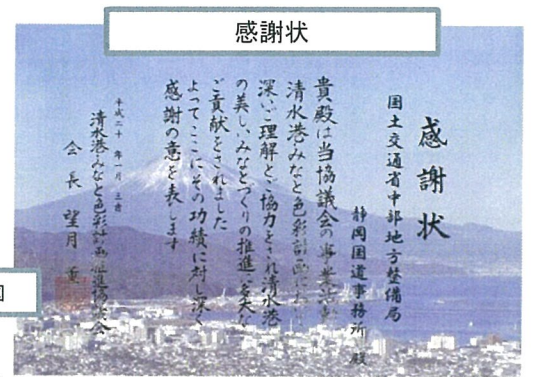


平成3年に策定され、清水港を地域の特性に応じて景観上のまとまりをもった8つのゾーンに分け、各ゾーンの特徴を生かした配色を設定している。国道1号静岡バイパス興津高架橋は「新興津・興津袖師第1埠頭地区」にかかる。配色パレットは、色味に幅をもたせつつ、統一感のある景観を形成できるように制定されている。



- ① 真崎 エリア
- ② 三保 エリア
- ③ 折戸 エリア
- ④ 富士見埠頭 エリア
- ⑤ 日の出 エリア
- ⑥ 江尻 エリア
- ⑦ 袖師第2埠頭・東燃 エリア
- ⑧ 新興津 興津袖師第1埠頭 エリア

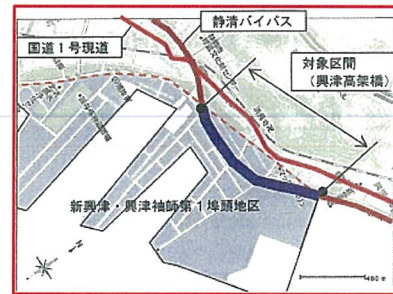
全体配置計画ゾーニング図



感謝状

感謝状

対象エリア拡大図



〈対応状況写真〉



着工前



完成

交通安全関係

■交通事故対策

静岡国道事務所管理道路の静岡県事故ゼロプラン「事故危険区間」において、交通挙動分析や現地検等により、的確な評価分析を行い、重点的に交通事故対策を進めます。

【平成 26 年度の主な事業箇所】

- | | | | |
|-------|------------------------|---------|---------------------------|
| ◆国道1号 | しみずえきまえ
清水駅前交差点改良事業 | ◆国道1号 | あおじま
青島地区歩道設置 |
| ◆国道1号 | しずおか
静岡地区自転車道設置 | ◆国道139号 | とぎんどういりぐち
登山道入口交差点改良事業 |
| ◆国道1号 | みずもり
水守地区歩道設置 | ◆国道139号 | あつはらし
厚原西交差点改良事業 |

【主な事業箇所の現地状況】



国道1号 清水駅前交差点



国道139号 登山道入口交差点



国道139号 厚原西交差点



平成22年12月より 事故ゼロプランスタート!!



※本プランでは、交通事故対策を効率的に実施していくため、交通死傷事故が多発する箇所や道路利用者・地域の皆様が危険と感じられている箇所を対象にして、優先的に対策を行います。



国道1号 青島地区歩道設置



国道1号 水守地区歩道設置



国道1号 静岡地区歩道設置

国道1号清水駅前交差点改良 ～人にやさしく安全な交差点に～

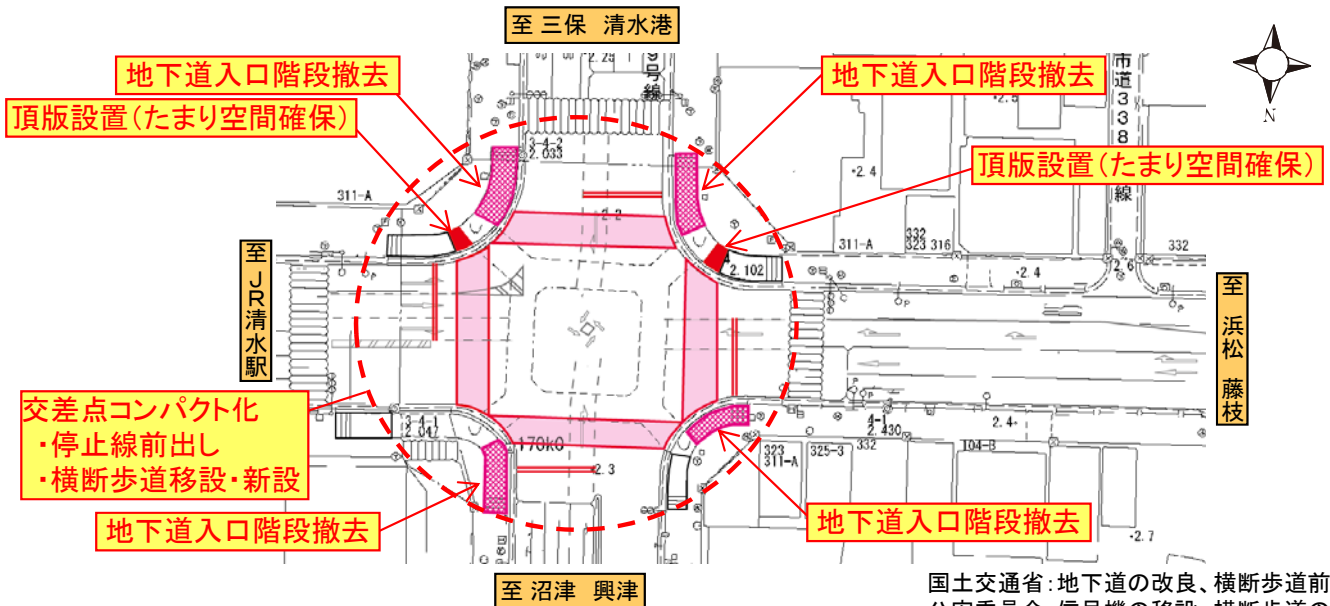
国道1号清水駅前交差点は、駅を利用する歩行者や自転車が多く、交通事故が多発しており、地域からは横断歩道を増設し、回遊性向上の要望がありました。

これを受け、平成23年度より静岡市・公安委員会・自治会と懇談会を開催し、対策を検討してきました。

この度、静岡国道事務所では、平成25年11月から国道1号清水駅前交差点の改良工事に着手しました。

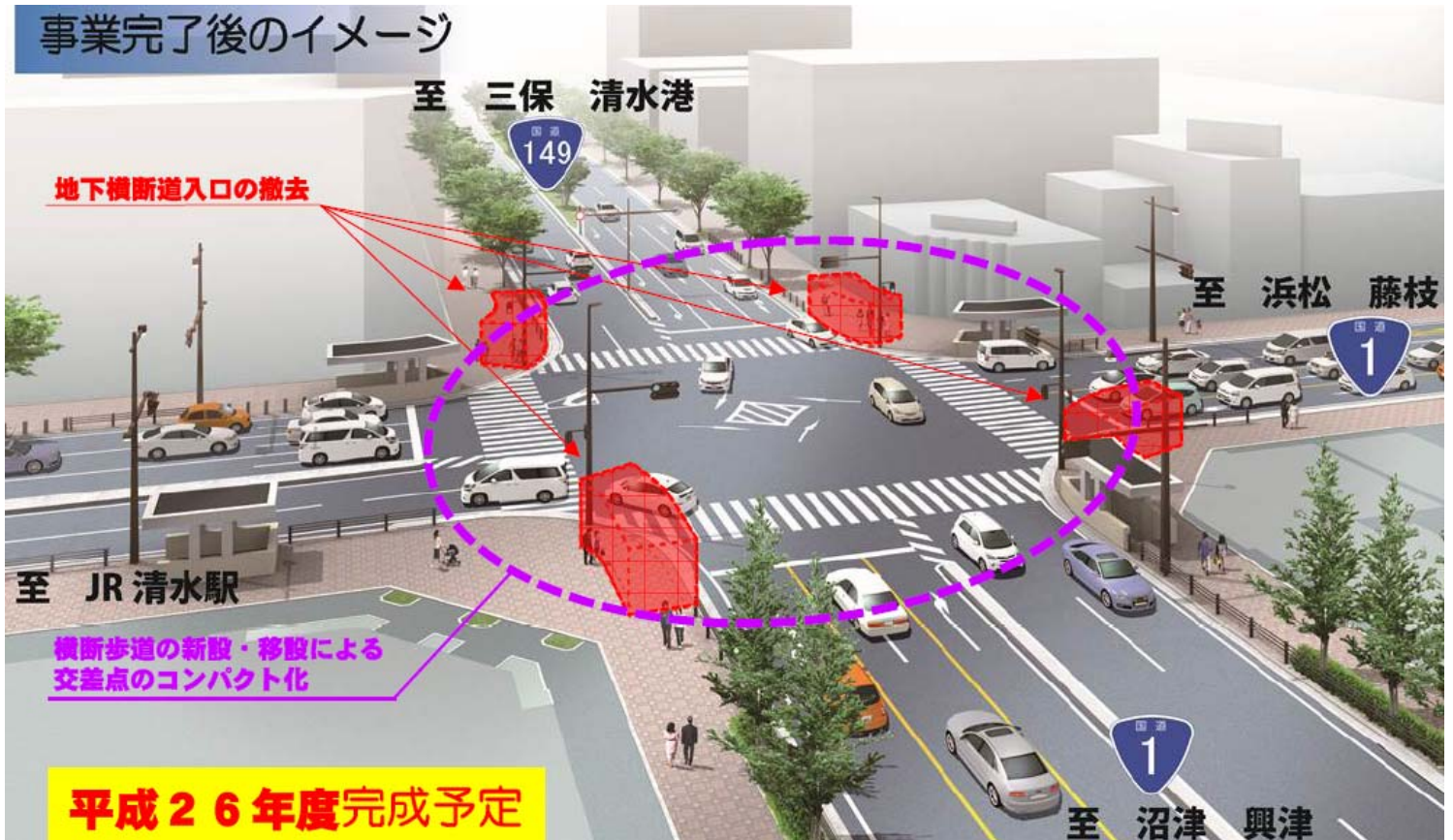
○追突・出会い頭事故対策として、**交差点のコンパクト化**を行います！！

○左折・人对車両事故対策として、一部地下道上屋を撤去することで**視認性を確保**します！！



国土交通省:地下道の改良、横断歩道前出し
公安委員会:信号機の移設、横断歩道の増設

事業完了後のイメージ

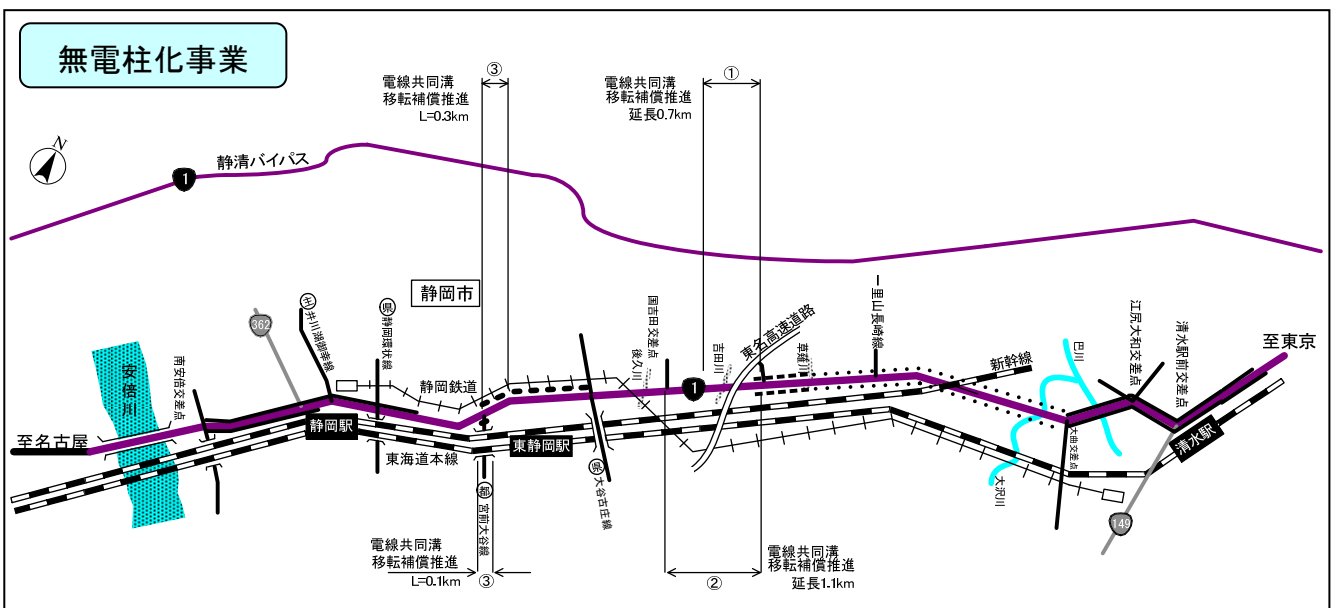


国道1号 無電柱化

歩道上の電柱や電線類を無くし、快適で安全な歩道空間を確保するために、上空の電線類を地下にまとめて収容する「電線共同溝」を整備しています。電線共同溝の整備により、歩道空間が広くなり歩道の景観が美しくなるばかりでなく、災害時などの二次災害に対する安全性も向上します。

【平成26年度の主な事業箇所】

- ① 静岡市駿河区弥生町～同区国吉田 (L=0.7km) の本体工事及び移設補償を推進
- ② 静岡市清水区中ノ郷～同区国吉田 (L=1.1km) の本体工事及び移設補償を推進
- ③ 静岡市葵区柚木～同区宮前町 (L=0.4km) の移設補償を推進



整備事例 (清水区西久保～辻)



～電柱がなくなり歩道が広くなりました～

ボランティアサポートプログラム

道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという地域の皆さんの自然な気持ちを、形あるものにしようと思ったのが「ボランティアサポートプログラム」です。地域の皆さんの「みち」をきれいにしようという気持ちが、地域にふさわしい道づくりにつながることを期待しています。

【平成26年度の主な活動内容】

- ◆活動団体の募集(国道1号、52号、139号)
- ◆「地域の皆様と『みち』をきれいにしよう」との考えのもと、国道1号の美化及び清掃活動を実施します。

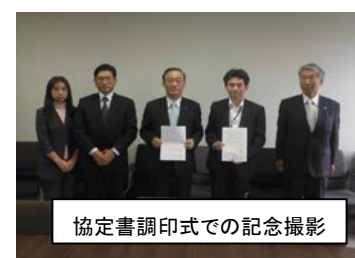


活動の様子

平成26年度 実施団体	活動内容
○国道1号 7団体	歩道の清掃、植樹帯(花)の管理

<平成25年度 ボランティア・サポートプログラムの協定締結>

平成25年10月17日に一般社団法人静岡県設備協会とボランティア・サポートプログラムの協定を締結しました。静岡市内の国道1号長沼交差点からマークイズ付近の歩道の清掃活動を通して、道路の美化に貢献されています。



協定書調印式での記念撮影

静岡県内【中学生の部】初！ ～平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語で優秀賞受賞～

国土交通省では、8月の「道路ふれあい月間」の行事の一環として、あらためて道路の役割及び重要性について考えていただくことを目的に、広く一般から本月間の推進標語を募集しました。

全国から7,663作品の応募があり、【中学生の部】の優秀賞に近藤海太さん(静岡市立城内中学校の作品)が選ばれました。推進標語での【中学生の部】の受賞は静岡県内で初めてです。

そこで、平成25年8月27日(火)に静岡市立城山中学校で静岡国道事務所長より、近藤海太さんへ表彰状を伝達しました。

【中学生の部】優秀賞

「新しい人との出会い つなぐ道」 静岡市立城内中学校 近藤海太さん



静岡国道事務所長より受賞のお知らせ



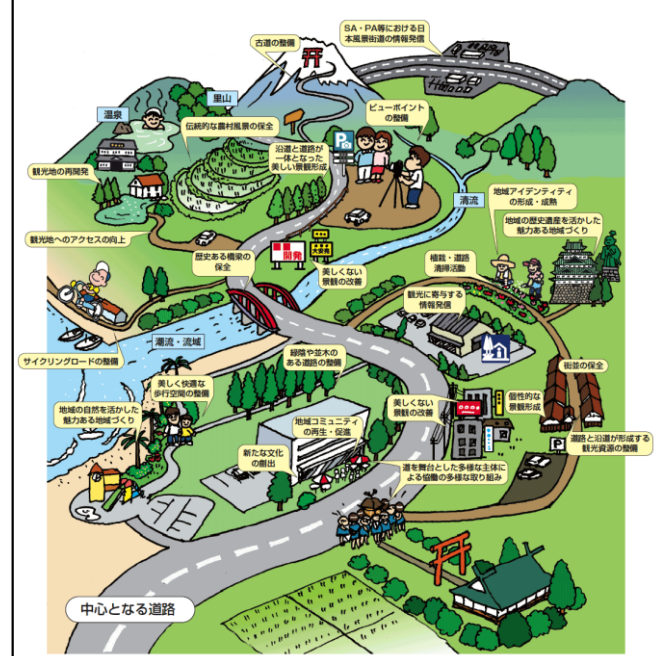
近藤海太さんへ表彰状の伝達

日本風景街道

～静岡国道事務所管内の風景街道の紹介～

日本風景街道は、住民、NPO、企業など地域が主体となって、行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」への取り組みです。国土交通省が全国127ルートを登録し、「よこび」や「感動」など地域の活性化に向けた活動が展開されています。

〈日本風景街道のイメージ〉



〈静岡国道事務所管内の「風景街道」〉

ぐるり・富士山風景街道

日本一の山・富士山の見える道風景と裾野に広がる巡りの道を中心に、美しい地域と道空間作りの支援を通じて「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した取り組みです。

○平成25年度 主な活動

- 案内サイン集約化への取り組み
- 「富士山古道・トレイル研究会」にて、富士山周辺トレイルルートの検討作業
- プチメンテナンス(ゴミ拾い、草刈り等)



世界遺産登録された富士山の眺望



構成資産のひとつ「白糸の滝」

東海道「駿河2峠6宿風景街道」

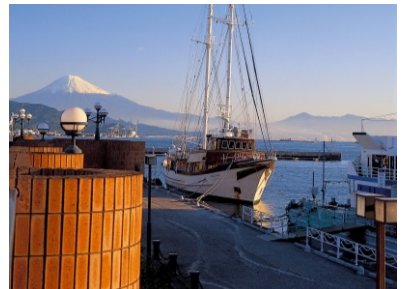
静岡市にある東海道の6つの宿場と2つの峠を道における地域ブランドとして、「歩いて楽しむ」旅のスタイルを確立し、街道観光という新しい価値の創出を目指した取り組みです。

○平成25年度 主な活動

- 環境整備事業
 - 宇津ノ谷峠にて景観維持のための草刈り等
 - 府中宿つつじ通りにて街道みがき(プチメンテナンス)を実施
- 情報発信事業
 - フォトコンテストの成果を使ったPR活動
 - かわら版の発行(宇津ノ谷峠周辺世帯に配布)
 - SNSによる情報発信



うつのや「宇津ノ谷峠」の明治時代に掘られたトンネル



「江尻宿」清水港と富士山

日本風景街道 ～日本風景街道大学・ふじのくに静岡校～

平成26年2月14日(金)、15日(土)に静岡県庁と常葉大学水落校舎を会場として、「日本風景街道大学・ふじのくに静岡校」が開催されました。今回の静岡校へは、全国各地から約160人の方々が参加し、活発な議論がなされました。

〈全体テーマ〉

「日本風景街道」に関わる地域の思いと誇りを長く持ち続けられる制度にするために、日本風景街道の自立・充実・飛躍をめざして「心」(人)・「技」(知恵と技術)・「体」(仕組み・制度)について知恵を出し合い、形に表し、提案する。

〈活動の紹介〉

◇主催：日本風景街道大学・ふじのくに静岡校 実行委員会

1日目 (会場:静岡県庁)

- ・「日本風景街道の取り組み紹介」 中部地方整備局 道路部長 上坂克巳
- ・3つのテーマごとに車座形式で討議
- ◇「心」人に関わること(人材発掘と育成、思いの継承)
- ◇「技」拡大・充実の知恵と技術(中間支援、企業連携、日本風景街道ブランドの確立)
- ◇「体」日本風景街道の制度(コミュニティ・シンクタンク、仕組みと制度、活動費の確保及び支援策)



川勝 静岡県知事による来賓挨拶



上坂 道路部長による日本風景街道活動紹介



テーマ別討議の様子

2日目(会場:常葉大学水落校舎)

- ・3つのテーマについて各座長からの報告
- ・2つの個別テーマについてワークショップを実施
- ◇「日本風景街道のブランドカアップの戦略や他セクターとの連携、資金獲得方法」
～東海道「駿河2峠6宿風景街道」を事例に～
- ◇「日本風景街道トレイル・ルート等」
～「ぐるり・富士山トレイル」を事例に～

フィールドワーク(東海道「駿河2峠6宿風景街道」 宇津ノ谷峠)

・古代、中世、近代、現代の道が集中。「道の駅エコミュージアム」の拠点でもある宇津ノ谷峠にてフィールドワークを実施。



座長による報告



ワークショップによる議論



フィールドワーク参加者で記念撮影

国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所

〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍2丁目8番1号

お問い合わせ：TEL 054-250-8900（代表）・FAX 054-252-5747・E-mail：sizukoku@cbr.mlit.go.jp

<u>静岡国道出張所</u>	〒420-0941 静岡市葵区松富 1-3-23	TEL:054-273-2230	FAX:054-273-2298
<u>静岡国道維持出張所</u>	〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷 2075	TEL:054-278-5181	FAX:054-277-3467
<u>富士国道維持出張所</u>	〒417-0001 富士市今泉 337-1	TEL:0545-52-5650	FAX:0545-57-5006

